

青少年委員だより

子どもたちの思いを大切に

第167号



日頃より、青少年委員の皆様には江戸川区内の子どもたちのためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。区内のさまざまなイベントで皆様の姿を拝見するたびに、イベントそのものに安心感が生まれるとともに、子どもたちに寄り添った接し方から私自身も多くのことを学ばせていただいております。

近年、地域のさまざまな会議に出席する中で、特に話題に上がるのが地域防災の重要性です。その中でも高齡化が進む現状において、地域で頼りになる存在として中学生に期待する声が多く聞かれるのが印象的です。昨年、瑞江地区委員会で開催された中学校対抗の「総合防災競技大会」では、多くの生徒が積極的に参加し、地域防災の力になることを実感しました。また、大会後のアンケートでは、「今後も防災に関心を持ち続け、災害時には大人と協力してできることをしたい」という前向きな意見が多く寄せられました。

青少年委員会においても、中学生に焦点を当てた活動が行われていると伺っております。最近の中学生は、自分の意見をしっかりと持ち、関心のあることには積極的に行動する姿勢が見られます。そのような子どもたちの気持ちを引き出し、活動へとつなげてくださっているのが青少年委員の皆様のご存在だと感じております。

これからも、子どもたちの思いを大切にしながら、青少年の健全育成に向けたご活躍を心より期待しております。



青少年委員に思うこと

青少年育成地区委員長会

副会長 伊藤 智章

未来を担う人づくり研究グループ

令和6年12月14日（土）、学校公開日に学校応援団の行事として相撲イベントが開催され、私たちの研究グループも土俵の組み立てなどをお手伝いしました。当日は、新堀小学校元PTA会長の伊勢ノ海部屋甲山親方（元大碇関）と、新堀小学校出身の若碇関をお迎えし、2部構成のイベントとして楽しく相撲を体験しました。

第1部は、全校集会の授業として、全児童が相撲体操を行いました。足を高く上げて四股を踏みますが、バランスを崩して尻餅をつく子どももいて、活気があふれ全員で汗を流しました。

第2部は、有志の子どもによるトーナメント戦です。行司は親方が行い、相撲協会から借りた原寸大の土俵



も作り、本格的な相撲の対戦です。子どもや保護者による大声援の中、熱戦が繰り広げられ、優勝者が決定しました。試合後、子どもたちの達成感に満ちた表情が印象的でした。

これからも地域と学校が連携し、子どもたちの成長を支える活動に協力していきたいと思っています。



文責

鹿骨地区部会

笠井

雅世

あとがき

「青少年委員だより」167号が完成しました。各地の冬の行事を中心にお届けします。

新しい広報部による3度目の「青少年委員だより」発行です。広報部員も企画・編集作業に慣れてきました。来年度は、今年度よりもさらに魅力的な紙面作りを目指します。

紙面2ページに掲載された令和6年度東京都青少年委員会に参加し、天野安喜子さんの講演を聴きました。質疑応答の中で、天野さんは不登校への対処の一つとして生活リズムの重要性についてお話しされました。改めて「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを感じました。

広報部一同

江戸川区青少年委員 ホームページ



こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。

江戸川区青少年委員 検索

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部
健全育成課育成活動支援係
TEL 03(5662)0357

11月定例会 野 外 研 修

野外研修として東京消防庁本所防災館にて、防災体験学習を行いました。関東大震災の体験手記をもとに制作された再現アニメーションを鑑賞し、震災直後の人々の行動や心情の変化を追体験しました。また、水没時の避難扉の開閉の重さを体験するプログラムや、暴風雨体験、火災時の煙避難体験、就寝姿勢での震度7の地震体験などを通じて、実際の災害をより具体的にイメージすることができました。

文責
葛西北地区部会
森 卓也



2月定例会 区立小学校PTA連合協議会との意見交換会

2月の定例会研修では、区立小学校PTA連合協議会との意見交換会を実施しました。この意見交換会の目的は、現役のPTA会長と青少年委員がお互いに意見を交わし、子どもたちのためにどのように協力して育成活動を活発化させることができるかを模索することにあります。各地区ごとに分かれてグループ討議を行い、今後の活動に役立つ有意義な時間となったのではないかと思います。

文責
小松川地区部会
村上 則俊



10月定例会 ロープワーク体験

小岩地区部会の中川委員が講師となり、ボーイスカウトで習得したロープの結び方やロープを使ったゲームを体験しました。一見簡単そうに見える結び方でも初心者には難しく、講師の手元を見ながらロープを扱うのに四苦八苦する場面もありました。また、対戦相手とロープを引っ張るゲームでは大いに盛り上がりました。

文責
東部地区部会
古澤 三枝子



1月定例会 健康づくり講演会

1月の定例会は健康づくり講演会として、「栄養について」をテーマに、千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター特任講師の飯田英和様をお招きし、ご講演いただきました。講師の方には、多くの情報をわかりやすくご説明いただき、参加者一同、日頃の生活習慣を振り返る良い機会となりました。講演を通じて、自身の不摂生を実感された方も多かったのではないのでしょうか。

文責
葛西南地区部会
橋本 隆司



令和6年度 東京都青少年委員大会

令和7年2月23日（日）、令和6年度東京都青少年委員大会がタワーホール船堀5階の大ホールで開催されました。本大会は江戸川区での開催は18年ぶりということで、私たち江戸川区青少年委員会では昨年6月から実行委員会を立ち上げ、アトラクションや講師の選定などの準備を進めてまいりました。

アトラクションでは、江戸川区少年少女合唱団にご出演いただきました。合唱団の子どもたちは毎週日曜日にお弁当を持参して練習を重ねており、その成果を存分に発揮した素晴らしい歌声を披露してくださいました。心に響く音色に感動し、お願いして本当に良かったと感じています。



第2部の講演では、花火師であり柔道家、さらに江戸川区教育委員でもある天野安喜子氏をお招きし、「花火師・考える子どもへの向き合い方」というテーマでご講演いただきました。東京都全域の青少年委員の皆さまに、江戸川区が誇る施設や人材を紹介できたのではないかと思います。

最後に、本大会の開催にあたりご協力いただいた東京都および江戸川区の行政関係の皆さまに、心より感謝申し上げます。



ありがとうございました。

文責

小松川地区部会

村上 則俊

ウォーキングフェスタえどがわ 2024



木下 眞理子

葛西南地区部会



文責

過ごしました。

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。会場には医療関連団体による医療コーナーや、食育コーナーなども設置され、ウォーキング後にはヨガやストレッチ、チアダンスの実演、さらに完歩者を対象とした抽選会など、盛りだくさんの内容で、参加者は楽しく健康的な一日を

令和6年11月23日(土)、青空の下「ウォーキングフェスタえどがわ2024」が開催されました。「スポーツの秋!心からやかウォーキング」をキャッチフレーズに、平井南小学校・第二グラウンドをスタートし、旧中川・荒川河川敷を歩く6キロと10キロの2コースを812名の老若男女がたくさんの笑顔を見せながら元気よく歩きました。

氷上フェスティバル



江副 礼佳

東部地区部会



文責

ご参加される皆様にとって、思い出に残る1日となりました。

また、青少年委員のブースではマジックスクリーンの工作を行いました。

マジックスクリーンは、絵を出し入れすると絵柄が変わる仕掛けの手作りおもちゃです。子どもたちは選んだイラストに、思い思いの色を塗り、色が付いたり消えたりする様子を楽しんでいました。

晴天にも恵まれ、

令和6年12月8日(日)、江戸川スポーツランドにおいて、氷上フェスティバルが華やかに開催されました。エキシビションでは江戸川区出身の小田垣櫻さんを始め、未来のフィギュアスケーターの皆さんが様々な曲に乗せて、心温まる素晴らしい滑りを披露してくださいました。

はたちの手形



山下 真人

小松川地区部会

文責

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。

色紙が完成した後は、心に響くような大きなエールを贈り、二十歳の門出を心からお祝いさせていただきました。

今年は330個の手形と見届けました。

このコーナーでは、二十歳を迎えた皆さんが色紙に筆でこれからの抱負や思いを文字に託し、手形を押します。

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。

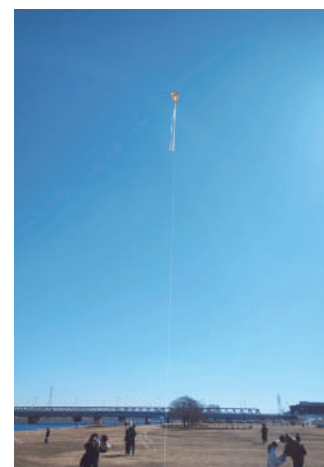
色紙が完成した後は、心に響くような大きなエールを贈り、二十歳の門出を心からお祝いさせていただきました。

今年は330個の手形と見届けました。

このコーナーでは、二十歳を迎えた皆さんが色紙に筆でこれからの抱負や思いを文字に託し、手形を押します。

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。

凧作り・凧揚げ大会



小松川地区部会

内藤 良明

文責

令和7年1月26日(日)に小松川平井地区委員会恒例の「凧作り・凧揚げ大会」が開催されました。天候にも恵まれ、参加者111名、協力者40名と多くの方が集まりました。

凧作りは、江戸川凧の愛好会から蒲倉一郎氏を招き、100年は持つという「剣凧」を作りました。

青少年委員は、凧作りの指導者、凧揚げの交通誘導として参加しました。

凧作りは、絵柄が印刷された和紙に縦・横・斜めに竹製の骨を貼付けます。小学校低学年の子どもが多く、保護者と一緒に2時間程度で凧は完成しました。その後、完成した凧を持ち荒川河川敷へ移動し、凧揚げがスタートしました。

晴天で良い風が吹く中で多くの凧が空高く揚がり、とても盛り上がった大会となりました。

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。

色紙が完成した後は、心に響くような大きなエールを贈り、二十歳の門出を心からお祝いさせていただきました。

今年は330個の手形と見届けました。

このコーナーでは、二十歳を迎えた皆さんが色紙に筆でこれからの抱負や思いを文字に託し、手形を押します。

今年度は、地元小松川地区の青少年委員が運営に協力しました。

中学生の地域参加研究グループ



会議風景



作成ポスター



中学生
実行委員長

令和7年2月16日（日）南小岩コミュニティ会館前のかかるがもひろばにて「おいしい！たのしい！未来のために」はばたけ〜学びのかるがもひろば〜を開催しました。このイベントは今期から新規に発足した中学生の地域参加研究グループでゼロからの企画です。中学生実行委員を集めることから始まり、お祭りを行うための内容を考えるのではなく、南小岩コミュニティ会館とかるがもひろばを使用して何ができるかを、考えてもらいました。過去の事例を紹介するなどの手助けは行いましたが、あくまで中学生が主体となり地域と協力して催しを進めることを重視しました。

中学生実行委員の工夫を紹介します。「分別わなげ」では分別の知識を理解できるように三択形式にしました。「SDGsダーツ」では、自然に良いものを画像で表現し、得点を競いました。



古着リサイクル

分別わなげ

豚汁コーナー

SDGsダーツ

実行委員の募集の呼びかけに11名の中学生と1名の小学生が集まってくれました。興味のあることや経験してきたことについて意見の交換をした結果、SDGsをテーマにした学びの催しを実施することに決定しました。2回の打ち合わせを経て、各担当でそれぞれ工夫を凝らし、各ブースを企画しました。



「古着リサイクルコーナー」では中学生実行委員が持ち寄った古着を無料で提供しました。

「手形アート」では積極的に声掛けし、地域の皆様の協力でたくさんの花が咲きました。

「豚汁コーナー」では買い出し、調理、販売とすべての工程を経験し、時間のある時には呼び込みも行いました。近隣の小学校、中学校また地域の多くの方から、さまざまな場面でご協力いただき、大変ありがとうございました。多くの地域の人が集まり、中学生実行委員会を中心として皆が貴重な体験をした一日となりました。

文責

小岩地区部会

中川 隆

地域交流研究グループ



手づくり工作



ピンポンカップイン



金持ちじゃんけん

令和6年12月7日（土）に「ASOblo」をテーマに新島交流会を開催し、青少年委員有志やOBの協力のもと、手づくり工作とレクリエーションを行いました。手づくり工作では「はらぺこあおむし」（折り紙工作）や「クリスマスチャーム」（ビーズ工作）など、7つの手づくり工作を行い、レクリエーションでは「ピンポンカップイン」や「金持ちじゃんけん」を行い、「ASOblo」を子どもたちと一緒に楽しみました。新島の子どもたちは目を輝かせて真剣に遊んでいました。

さらには新島の施設見学の機会をいただき、日本で新島にしかない「コーガ石」や、伊豆諸島の海底地形や溶岩の質による島影の違いなどについて教えていただきました。本交流会では江戸川区と新島村の行政事務局を通じて開催場所の手配、島内放送や「広報にいじま」での事前呼びかけ、小学校へのチラシ配布を行っていただきました。その効果もあって、当日は21名の小学生が保護者とともに集まりました。また、隣の式根島からも小学校の先生が参加くださいました。ご協力くださった新島村の前田教育長をはじめ、教育委員会ならびに青少年委員会の皆様に心より感謝申し上げます。今後は他地域との交流も積極的に

新島にて交流会「ASOblo」（アソボ）を開催

広げ、他の研究グループと更に連携し、青少年育成活動により一層努めたいと思います。

文責

小松川地区部会

山下 真人

